

松陵小学校統廃合ニュース

「第3号」

平成22年10月5日発行

今後の松陵小学校のあり方等について、3回目の松陵小学校地域懇談会が開催されました。その概要を松陵小学校及び松陵西小学校の学区内にお住まいの皆様にお知らせします。

日時：平成22年8月29日（日）10：00～12：30

場所：松陵市民センター 第2・3研修室

1. 報告

- (1) 松陵小保護者対象アンケート結果について
- (2) 学校に掛かる経費について
- (3) 松陵小・松陵西小の標準学力検査結果について

2. 議事

- (1) 保護者会からの要望について
- (2) 他都市における統合事例の紹介
- (3) 新校開校までのイメージ
- (4) 新しい学校のイメージ



《今回の懇談会で確認された主な内容です》

- 子どもたちの教育環境をより望ましいものにしていくため、今後は松陵西小学校の関係者と建設的に話し合っていきます。
- 統合後の校舎は松陵西小学校を使用することになります。

1 報告

(1) 松陵小保護者対象アンケート結果について

松陵小保護者会が実施した「松陵小学校統廃合に関するアンケート結果」について、保護者会から以下のとおり報告がありました。

① 回収数（回収率）：51／66家庭（77.3%）

② 統廃合についてどう思いますか

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対
回答：(10)	(11)	(14)	(14)	(10)

③ 現在の松陵小学校の学校生活について

a) 学習面について

満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
回答：(34)	(17)	(9)	(1)	(0)

b) 人間関係について

満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
回答：(25)	(9)	(18)	(7)	(1)

c) 教育活動について → グループ別学習やクラブ活動、学校行事など大きな集団を前提とする活動が支障なくできていますか

できている	やや出来ている	どちらでもない	やや出来ていない	出来ていない
回答：(22)	(16)	(12)	(8)	(2)

d) 学校運営の面から → 教員の数が少ないことで授業の内容や進め方に問題がありますか
あると思う ややあると思う どちらでもない ややないと思う ないと思う

回答：(1)	(4)	(11)	(10)	(34)
--------	-----	------	------	------

④ その他、自由意見として人間関係や通学路についての不安の声や統合を早く進めてほしいという意見がありました。

(2) 学校に掛かる経費について

前回の地域懇談会で地域委員からご要望のありました「松陵小と松陵西小を残した場合と統合した場合の経費」について、教育委員会から以下のとおり報告がありました。

- ① 平成 20 年度決算ベースで松陵小に掛かる経費総額 138,871 千円
内訳：県費 113,467 千円（総額の 82%）、市費 25,404 千円（総額の 18%）
- ② 平成 20 年度決算ベースで松陵西小に掛かる経費総額 246,457 千円
内訳：県費 196,862 千円（総額の 80%）、市費 49,595 千円（総額の 20%）
- ③ 平成 20 年度決算ベースから試算した新校に掛かる経費総額 282,546 千円（見込額）
内訳：県費 224,985 千円（総額の 80%）、市費 57,561 千円（総額の 20%）

(3) 松陵小・松陵西小の標準学力検査結果について

前回の地域懇談会で地域委員からご要望のありました「松陵小と松陵西小の仙台市標準学力検査の結果」について、教育委員会からそれぞれの学校で保護者に通知した文書のコピーを配付し、以下のとおりの報告がありました。

- ① 検査のねらいは、「学校が児童一人一人の学力の定着状況や生活状況を的確に把握し指導に活かすと共に、個に応じたきめ細かな指導の充実を図るため」に行っているものであり、もともと各学校を比較するために行っているものではありません。
- ② 学校が保護者にお伝えする内容や方法は、各学校の実態に応じて様々であります。
- ③ 両校では、学力検査で出された結果から子どもの実態を分析し、それぞれの力を伸ばすため授業における指導法の工夫・改善を行っています。



2 議 事

(1) 保護者会からの要望について

前回の地域懇談会后に保護者委員から教育委員会へ提出のあった要望書について、以下のとおり協議と報告がありました。（ゴシック体は保護者委員からの要望）

① 地域懇談会として協議した事項

- ・「統廃合にあたっての問題点について各委員全員に意見を述べてもらう。」を懇談会のテーマに入れる。
⇒地域懇談会の設置趣旨が「松陵小学校の存続、統合について判断するため」であることから、本日の懇談会の中で自由闊達に議論する。
- ・「松陵小保護者対象のアンケート結果についての報告・討議」を懇談会のテーマに入れる。
⇒本日の次第の「報告」の中で保護者委員から説明があったので、意見があれば本日の懇談会の中で発言する。
- ・地域懇談会ニュースに（松陵小統廃合について）というタイトルを入れて欲しい。
⇒「松陵小学校地域懇談会ニュース」のタイトルに「統廃合」の文字を加える。
- ・松陵西小の保護者にも地域懇談会に参加を要請して欲しい。
⇒今後、松陵西小関係者と話し合いを進めるために懇談会事務局が中心となって調整していく。
- ・松陵西小の保護者は統合についてどう思っているかアンケート等をとって意見を聞いて欲しい。
⇒松陵西小保護者を対象としたアンケートを実施する方向で教育委員会が調整する。
- ・地域の方の意見も大切。代表だけでは足りないの、地域の方にもアンケート等で意見を聞いて欲しい。
⇒懇談会として一定の方向性を出した上で、地域にお住まいの方々はどうのように考えますかといったスタイルをとるべきである。
- ・懇談会の委員として同窓会のメンバーを加えるべき。
⇒同窓会は組織化されていないため会長も副会長もいないが、松陵小学校の卒業生を地域委員として加えることは可能。
- ・教職員も傍聴権を認めるべきだと思う。
⇒両校の教職員の傍聴が速やかにできるよう規約を改正する。

② 教育委員会として今回の地域懇談会から対応することとし、その旨報告した事項

- ・ 懇談会当日に意見を言いたい方の対応を検討して欲しい。
⇒傍聴された方からご意見をいただけるよう用紙をお配りした。
- ・ P T Aの会費に地域懇談会の予算がないので、印刷・用紙代が負担。早急に対策をとって欲しい。
⇒地域懇談会に係る印刷・用紙代等は松陵小の事務用品を使えるよう教育委員会で調整した。
- ・ 懇談会の座席は（保護者会内の地域懇談会メンバー組織の）役職順でお願いします。
⇒要望どおりの席順とした。

(2) 他都市における統合事例の紹介

統合前後2年間教頭として勤務した小学校の経験談が教育委員会から紹介されました。



交 流

- ・ 学校行事や授業での児童間の交流
- ・ P T A 行事や授業参観での保護者間の交流
- ・ 小中連携事業など教師間の交流

学校や保護者、地域の不安や願い



子どもたちの変容

- ・ お互いが自分の考えを主張できるようになる
- ・ 自分よりすごい友達がいることを知る
- ・ 学習意欲が向上する

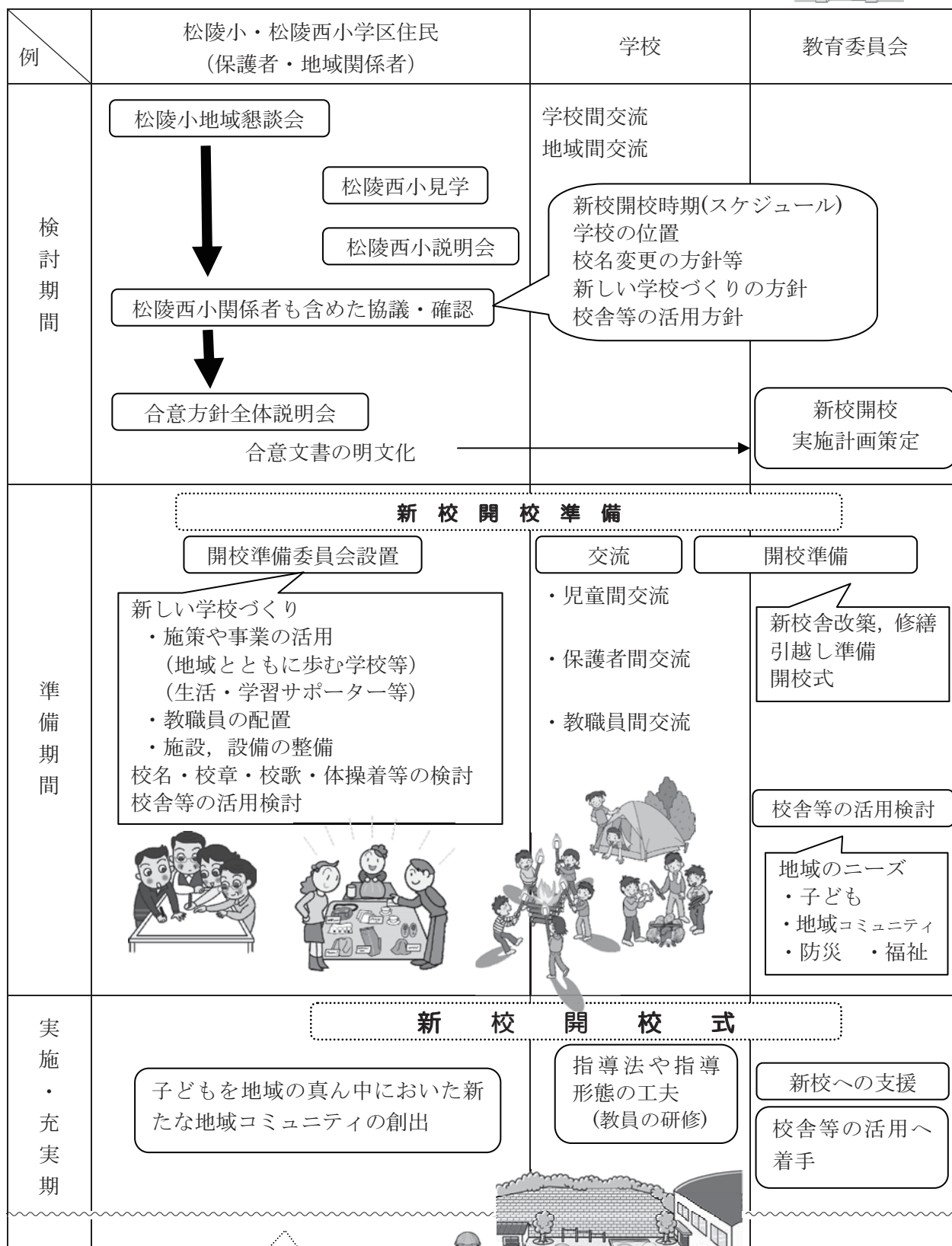
保護者の変容

- ・ 運動会など大きな行事で盛り上がる
- ・ P T A 行事の参加者数が増える





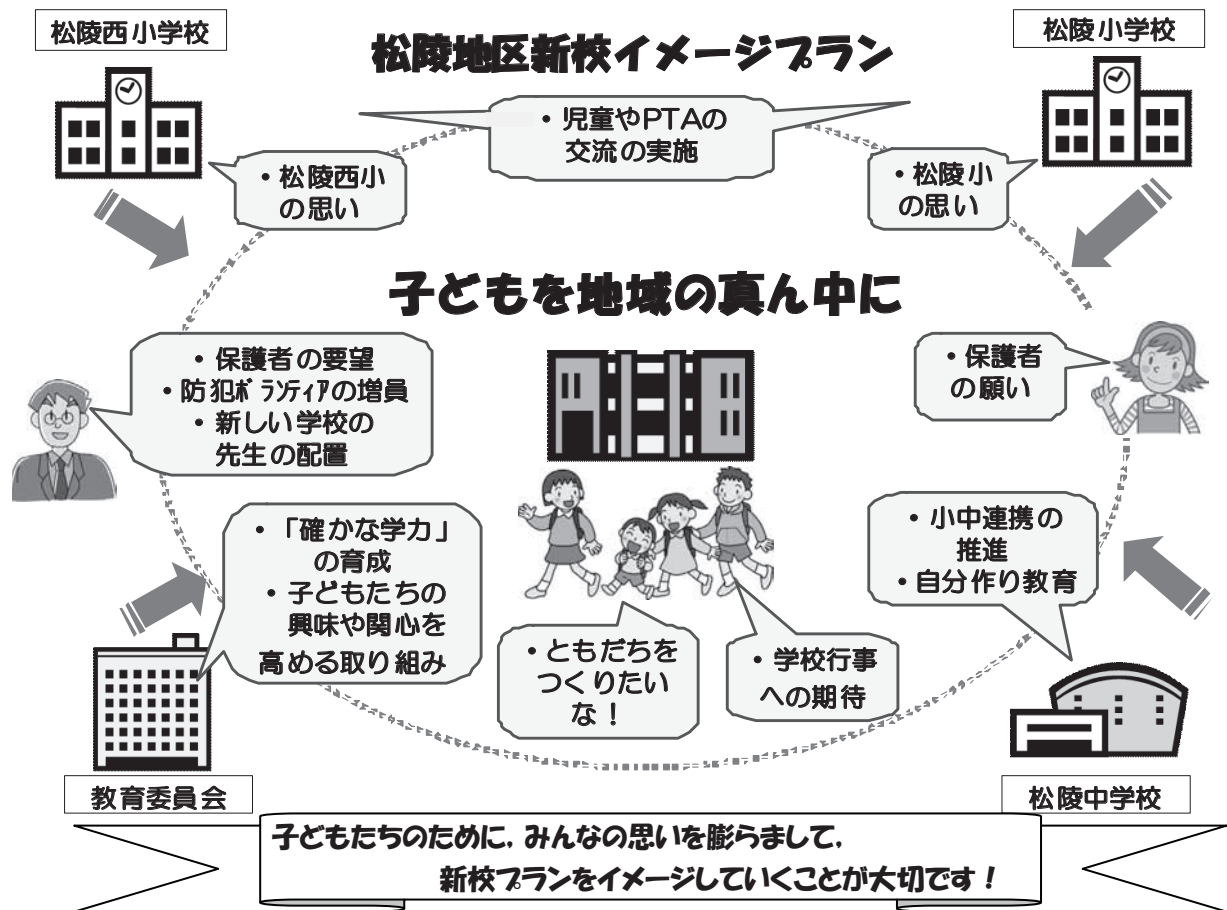
(3) 新校開校までのイメージ



新校開校までのイメージでは、検討期間において、今後松陵西小学校関係者を含めた場で、新校開校時期までのスケジュール、校名変更の方針等に関して協議や確認を行う必要が出てきます。

「開校準備委員会」が設置される準備期間では、新しい学校づくりに向けて、校名や校章、校歌等の検討、また児童や保護者の交流が行われます。

(4) 新しい学校のイメージ



委員の意見等（抜粋）

(1) 「地域懇談会ニュース」のタイトル・統合後の校舎について

- 「統合」、「統廃合」という言葉について、捉え方がはっきりしていないと思う。松陵西小側に吸収される「統廃合」というイメージを強く持っているが、教育委員会の考え方を伺う。
⇒ 教育委員会の方針では「統合」という言い方をしており、松陵小と松陵西小を統合して新たな学校をつくるというイメージを持っています。ただし、同じ団地の中に2つの小学校があり、距離もさほど遠くなく、スペースの面でも、松陵西小に松陵小の子どもたちが来た時には、特に増改築の必要もなく受け入れることが可能ですけれども、松陵小の場合はスペースが足りませんので増改築をしなければなりません。統合は行革でないのは事実ですが、かといって、お金をかけて松陵小の増改築を行うことはできないと考えています。2つの学校を統合する際には、一方の学校については廃校となり、跡地利用という話が出てくるものと考えています。（教育委員会から回答）
- 「廃校」というのはインパクトが強く、感覚的には差し迫ったものを感じると思う。ポストに入った懇談会ニュースを目に留めてもらうために、学校がなくなる、校舎が学校として使われなくなるということをイメージしてもらうようなタイトルにしてほしい。

(2) 松陵西小保護者に対するアンケートについて

- 松陵西小側が、どういう状況で受け入れをしようと思っているのかなど、様々な意見をいただくことは大事だと思う。アンケートを行い、松陵西小側の意見をきちっと把握したい。そして子どもを中心に話し合いを進めていきたい。

(3) 松陵西小関係者との話し合いについて

- 松陵西小と対等に話し合いを行い、松陵という町が発展していくために、よりよいまちづくり・学校づくりを考えていきたい。よい方向に進んでいければと思う。
- 松陵小と松陵西小の保護者には温度差がかなりあると思う。同じ土台に立って問題点を出していきながら進めたい。いい方向に進めていけたらと思う。

- まだ「賛成」か「反対」かは松陵小側も出していない中で、今後は、お互いに統合するにあたっての問題点を出し合って、それに対して何ができるのかを話し合っていきたい。
- 今までの統合事例の説明では、反省点なり問題もあるということが話されていない。もし課題があればみんなで考えていきたい。いい話ばかりではなくて、問題点をみんなで考えていきたい。

(4) 新校開校に先立つ事前交流等について（「他都市における統合事例の紹介」についての質問）

- 子どもたちは適応能力があるので、すぐに仲良くなれたと思うが、統合してからいじめの問題はなかったのか。
⇒ 男の子がスポーツ少年団で一緒だったこともありいじめはありませんでしたが、授業中に発言できなくて悩んでいた子どもたちがいて励ましたりはしました。（教育委員会から回答）
- 統合になるまでの協議の期間、子どもたちの交流を設ける期間、交流を経て統合校が開校するまでの期間があると思うが、どのくらいの時間がかかったのか。
⇒ 私が戸倉小に赴任した時には、統合はすでに決定していました。児童間の交流も保護者間の交流も1年間でやりました。また、新しい学校をどうしていこうかと話し合う会議を月に1回ぐらいのペースで、統合前の1年間で行っていきました。（教育委員会から回答）

(5) 地域について

- 松陵地区は、町内会の活動が活発で地域とのつながりを感じている。学校が統合となれば、学区民運動会をどうするかなど、地域の意見をきちんと聞いておかなければならないと思うので、そのような意見の吸い上げをどうしていくのか意見をいただきたい。
- 町内会で統合について賛成か反対かと意見を二分するようなやり方をとれば、おそらく収拾はつかなくなる。方向性が決まり、何が問題なのか意見を吸い上げて、その中で町内会として何ができるかということであればいろいろな協力は可能である。
- 避難所の確保は心配な点である。また、避難所は町内会独自でやらなければならないので、もし、跡地利用で他の団体が使用するとなった時には、避難所の確保の手続きはものすごく難しくなるし、誰かが町内会役員となった時に頭を抱えてしまうような問題になるのではと思う。

(6) その他

- 統合の話が出た時には統合は行わないほうがいいかなと思った。今後のことを考えれば統合した方がいいかとも思うが、できれば白紙に戻って穏やかになってくれればと思っている。
- 人数が少ないことは、未就学児の親としては不安だと思うし、1、2年生の子どもを持つ親には差し迫った問題であるので、統合するなら早くという気持ちである。条件次第で賛成か反対かの意見も変わってくることもあると思うので、どういう条件でやっていくかという事例をどんどん出してもらいたい。

第4回地域懇談会の開催日程は、現在調整中です。

※ 松陵小学校と松陵西小学校の保護者の皆様、地域にお住まいの皆様は地域懇談会を傍聴することができますので、詳細が決まり次第別途お知らせいたします。（第3回地域懇談会では2名の方の傍聴がありました）。なお、傍聴される方は発言をご遠慮いただくこととなりますので、ご意見のある方は書面等により承ります。

どのようなことでも結構ですので、ご意見がありましたらぜひお寄せください。

事務局：仙台市教育委員会事務局 学校規模適正化推進室

電話：214-8432 FAX：264-4428

Eメール：kyo019031@city.sendai.jp

取組み内容はホームページでもご覧いただけます

仙台市教育委員会 一定規模確保

検索